



箕環道第 5 号  
平成19年(2007年)5月8日

国土交通省道路局長 殿

箕面市長 藤 沢 純



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、平素より本市道路行政に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成18年12月8日に閣議決定された、「道路特定財源の見直しに関する具体策」については、財政状況を見極めながら国民負担の最小化を図るべく、歳出削減を徹底し、道路整備に対するニーズを踏まえて効率化を進めるものとして、貴職において具体的な道路整備の中期的な計画を策定されるところでございます。

本市におきましても、市の総合計画等の上位計画に基づき、新市街地整備等に併せて都市計画道路を始めとする道路整備を進めてきたところで、市内の基本的な交通アクセス網としては既成市街地の未整備区間を残す状況ですが、厳しい財政状況の下、本市道路行政への市民ニーズを勘案し、効果的、効率的な道路施策の推進が必要であると認識しており、都市計画道路等の幹線道路のみならず、生活道路に至るまで、地域の特性を生かした道路整備を進めて参りたいと考えており、別紙のとおり中期的な計画への意見とさせていただきますので、宜しくお願い致します。

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

(1) 市民が安全、安心出来る道路整備

- 災害時に広域避難地への連絡機能を有する幹線道路の整備を進めることにより都市防災の強化を図る。
- 歩道のバリアフリー化を推進し、障害者や高齢者をはじめとする全ての市民にやさしい道路整備を進める。
- 歩道設置等の歩車道が分離された道路を整備して歩行者や自転車の安全を確保する。
- 既成市街地における密集市街地の防災対策として狭あい道路拡幅整備を進める。

(2) まちづくりと連携した道路整備

- 新市街地整備及び既成市街地の再整備に併せて、そのアクセス道路となる幹線道路の整備を進めることにより活力あるまちづくりを進める。

(3) 道路維持管理にかかる道路特定財源の充実

- 経年劣化による橋梁等の道路構造物は維持補修コストが膨大なものとなるため、これらの補修に係る特定財源枠の確保をする。
- 市民生活に密接に関わる生活道路の維持補修、道路反射鏡等の交通安全施設の設置、さらには狭あい道路拡幅整備への特定財源枠の確保をする。

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

(1) 財源投資の効率化に重点をおいた道路計画

- 事業実施に際しては、費用対効果（B/C）の検討を行う。

(2) 事業実施における効率化

- 道路整備の実施においては建設コストを圧縮させるために、新しい建設技術の採用や再生材の使用を進める。

【道路政策や道路の整備・管理全般に関すること】

(1) 道路空間と沿道景観との一体化（生活環境の改善を身近に実感出来る取り組み）

- 市民が安らぎと親しみを持てるアメニティのあふれる道路整備を進める。
- 無電柱化による歩道空間の確保、災害に強い道路整備を進める。
- 街路樹の保全による景観や環境に配慮した緑豊かな道路整備を進める。
- 環境にやさしい低騒音舗装の実施を図る。

(2) 大阪北部地域の道路ネットワークの形成

- 第二名神自動車道及び国道423号等の大阪都心への南北軸を整備し、広域ネットワークを充実させることにより大阪北部地域の活性化と渋滞緩和を図る。